

平成28年1月27日(水)

県政 F ネット

感染症の予防のための 情報提供について

連絡先

三重県健康福祉部 薬務感染症対策課
感染症対策班 担当：谷出・平岡
電話：059-224-2352

病名	腸管出血性大腸菌（O157）感染症				
年齢及び性別	8歳・女性	職業	小学生		
住所	桑名市				
発病年月日	平成28年 1月20日				
診断年月日	平成28年 1月27日				
(患者発生の経過)					
1月20日 下痢（4～5回/日）の症状がみられた。					
1月21日 腹痛、下痢（2～3回/日）の症状が続いたので、桑名市内の病院を受診した。					
1月23日 腹痛、下痢（10回以上/日）、血便の症状がみられたので、同病院を再受診した。					
1月26日 症状が消失した。					
1月27日 1月23日の便検査の結果から、腸管出血性大腸菌（O157）感染症と診断された。 1月27日現在、患者に症状はありません。					
【防疫措置】 家族・接触者の健康状況調査及び検便の実施（桑名保健所）					
【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）					
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
患者	50	44	39	27	1
保菌者	24	18	19	10	0
計（感染者）	74	62	58	37	1
※平成28年1月1日～平成28年1月27日現在まで本件含む 平成28年内訳 患者：O157（1人） 保菌者：－					
【自分でできる対策】					
1 予防の3原則					
① 加熱（菌を殺す）					
この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。					
肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。					
ひき肉は、十分に加熱をしましょう。					
焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。					
井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。					
② 迅速・冷却（菌を増やさない）					
調理した食品はすぐに食べましょう。					
冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。					
③ 清潔（菌をつけない）					
手指や調理器具は十分に洗いましょう。					
2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。					
3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。					